

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	PARC(パルク)ウィル東大阪 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 29日 ～ 2025年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 12月 9日 ～ 2025年 12月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士が在籍している	担当制ではなく各専門職による様々な視点からお子さまを見ることで全般的に評価でき、またお子様の特性に見合った職種が中心に入るように工夫することで個別性を高めています。スタッフ間の情報共有・連携を大切にしています。	スタッフ一人一人のスキルアップを図り、スタッフによる対応の差が出来る限り少なくなるように努めます。
2	集団生活の中で可能な手立ての検討を行っている	個別療育とは違う集団生活について理解し、先生方が可能な範囲で取り入れていただける新方法の提案を行っております。	より様々な集団生活内でできる支援方法の検討を行います。
3	頻度は1ヶ月に1度から2か月に1度訪問している。 保育園・幼稚園・小学校での様子を観察し、報告書の作成・保護者様へのフィードバックを行っている	期間が空きすぎないように訪問先との連絡をとり、日程調整を行っています。また報告書を作成後は保護者様と訪問先へ共有を行い、フィードバックはお電話や対面にて実施しています。	保護者様の心配事や気になるところをこまめにお伺いすることで、訪問頻度や訪問日を調整していきます。より状況が伝わりやすくお話ができるよう努めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	具体的な用具の提案	お子さまの様子を観察している中で、必要な用具がその場になく、お伝えがすぐにできないことがある。	お子さまの観察時の授業や、保護者様からのご相談を事前に聞く中で、必要そうなものを持って行くよう心掛けます。また、その場にはない物でも画像などを用いて共有できるようにします。
2			
3			